

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第8回研修を開催しました！」

第8回の研修は、令和6年6月21日（金）22日（土）に雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、当社の星野技監を講師に迎え、気象と水稻についての講義を実施しました。

水稻は、は種から刈取りまでの管理を中心に講義があり、栽培期間中の温度管理が重要で、低温時には深水管理を行うなどの対策方法について説明を受けました。

また、お米の美味しい炊き方についても説明があり、受講生は講義を通して熱心に水稻栽培について学んでいました

休憩のあとの実習ではパイプハウスに移動して、大玉トマトの脇芽かき作業や1番果の摘果作業、トマトトーン処理を行いました。

担当職員からそれぞれの作業に係る留意点について説明を受けたあと、受講生は脇芽かき作業に取り掛かりました。

初めは脇芽と主枝の見分け方や、トマトトーン希釈液の入ったスプレーを、花房全体へ散布することに苦慮しているようでしたが、次第に作業に慣れ、大玉トマトの整枝や摘果、トマトトーンの散布を終えることが出来ました。

その後、実習は場において、えだまめのは種を行いました。

受講生は実習を重ねるごとに、は種までの作業の要領をつかみ、コミュニケーションを取りながら、楽しく作業をしているようでした。

夏を乗り切るための美味しいおつまみになることを期待して、これからの管理作業を行いたいと感じました。

次回の研修は、7月5日（金）、6日（土）に、病害虫・雑草防除について、などの講義と、農薬散布、ブロッコリーの定植、実習野菜の栽培管理を行う予定です。



講義「気象と水稻」についての様子
（講師：星野 圭樹 技監）



大玉トマトの脇芽かき作業を行う受講生（左）



トマトトーン処理作業を行う受講生



えだまめのは種を行う受講生